

滋賀県域メディア連携協議会資料  
気象庁 彦根地方気象台

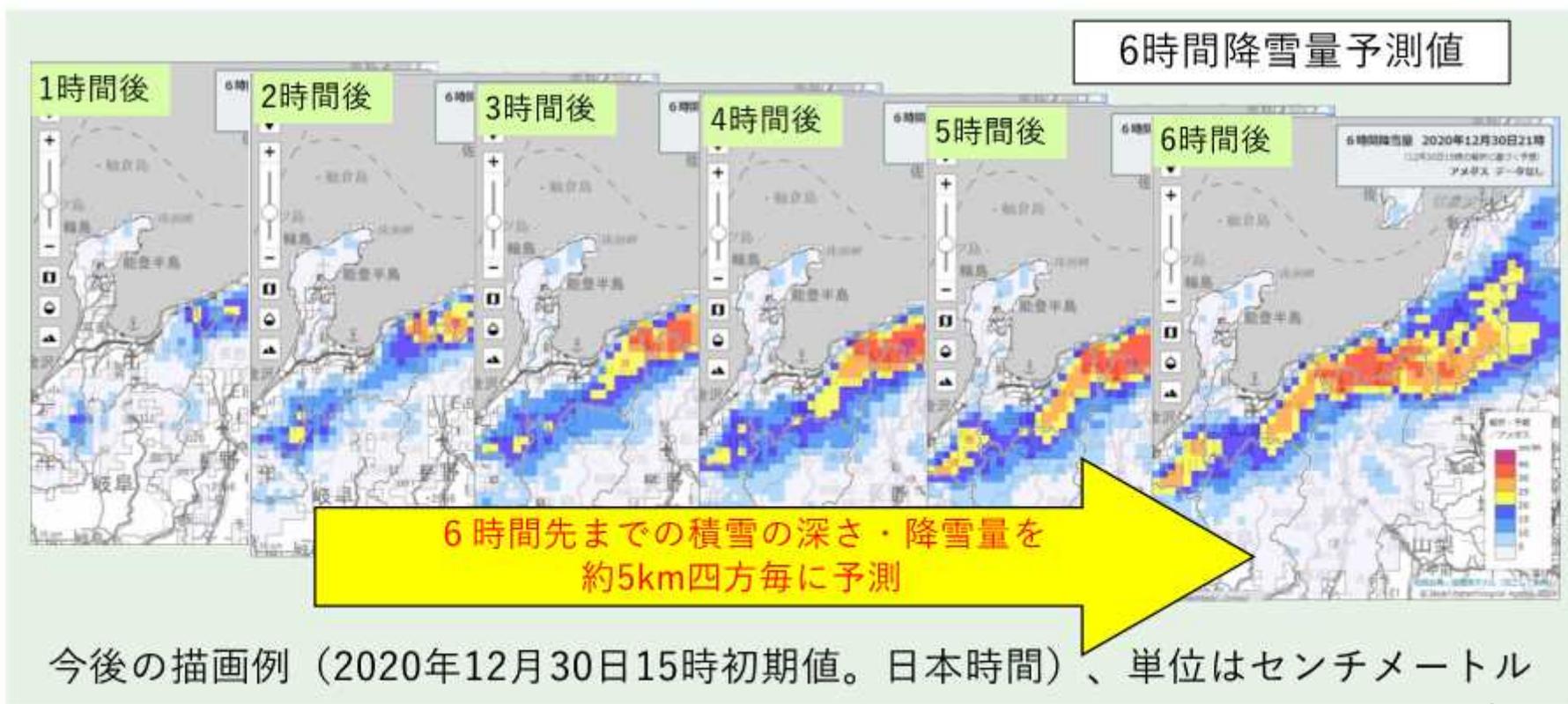
# 新しい雪の予報について

# これまでの経緯

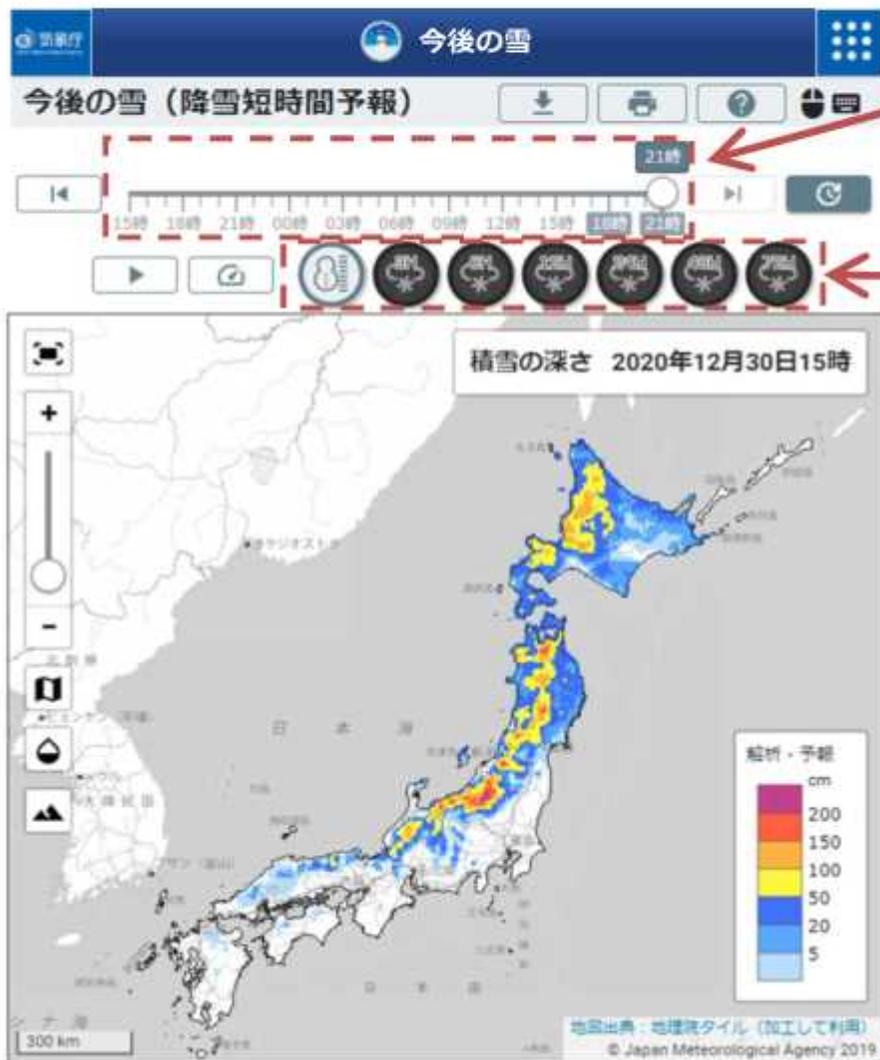
- ✓ 近年、集中的・記録的な降雪による社会活動への影響が問題に
    - 平成30年1月 首都圏の大雪（東京23cm、横浜18cm、前橋29cm、など）
    - 平成30年2月 北陸地方の大雪（福井県で記録的な大雪）
    - 令和2年12月 北陸地方の大雪（関越道で車両が多数立ち往生）
    - 令和3年1月 北陸地方の大雪（福井県や富山県で車両立ち往生）
  
  - ✓ 令和元年11月「現在の雪」の提供開始
    - 24時間前～現在までの積雪の深さと降雪量の面的な表示を開始
    - 気象庁ホームページでは「現在の雪」として提供
  
  - ✓ 令和3年11月「今後の雪」の提供開始
    - 「現在の雪」に6時間先までの予測を追加し、  
「今後の雪」へリニューアル
- 24時間前～6時間先までの面的な分布を一体的に確認可能に！

# 概要

- ✓ 6時間先まで1時間毎の「積雪の深さ」と「降雪量」を約5km四方の格子で面的に予測し、提供します。
- ✓ 現在までの積雪の深さと降雪量の面的分布を提供する気象庁HPコンテンツ「現在の雪」に予報を加え「今後の雪」へリニューアル。  
**→24時間前～6時間先の面的な分布を一体的に確認可能に！**



# 気象庁ホームページ「今後の雪」



過去24時間分の積雪の深さと降雪量に加えて6時間先までの予報を一体的に確認することが可能

クリックして要素選択



積雪の  
深さ

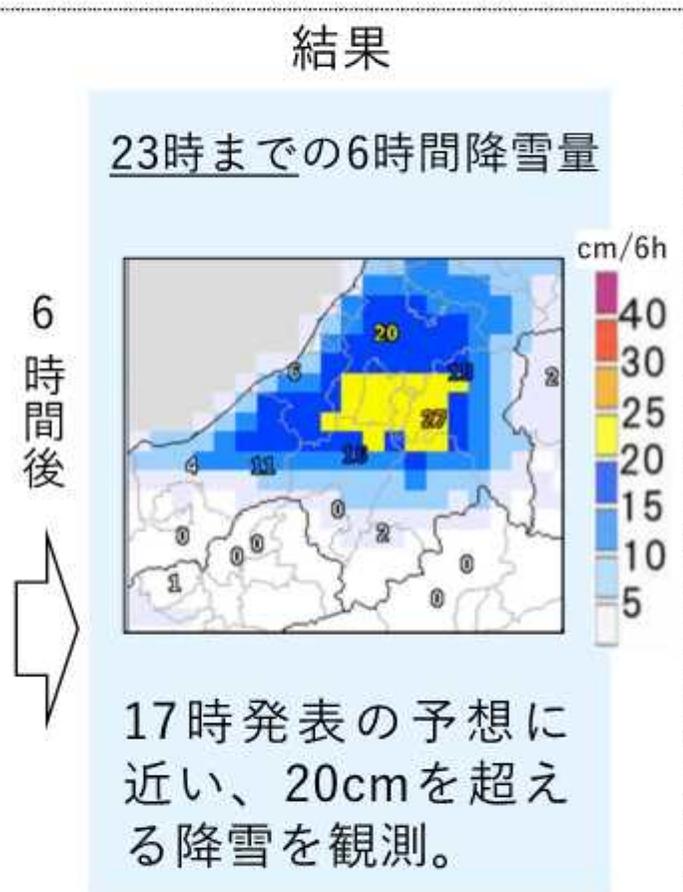
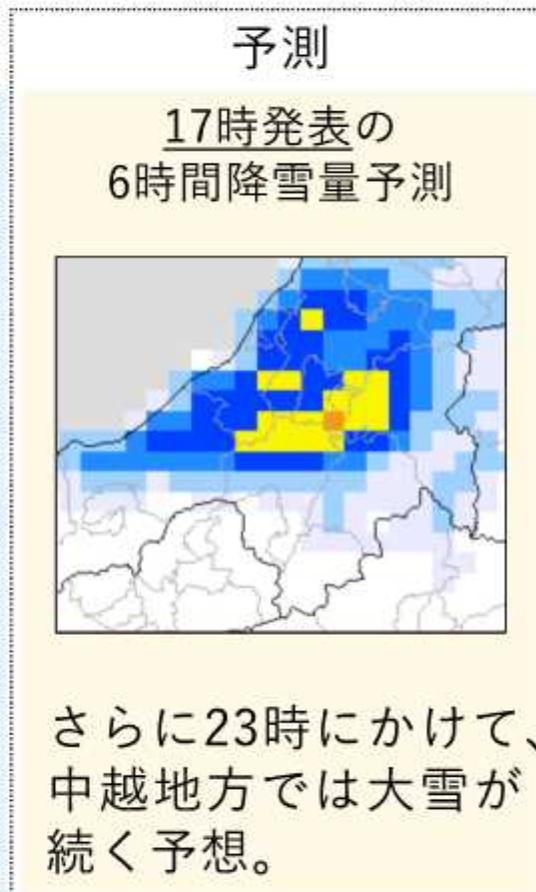
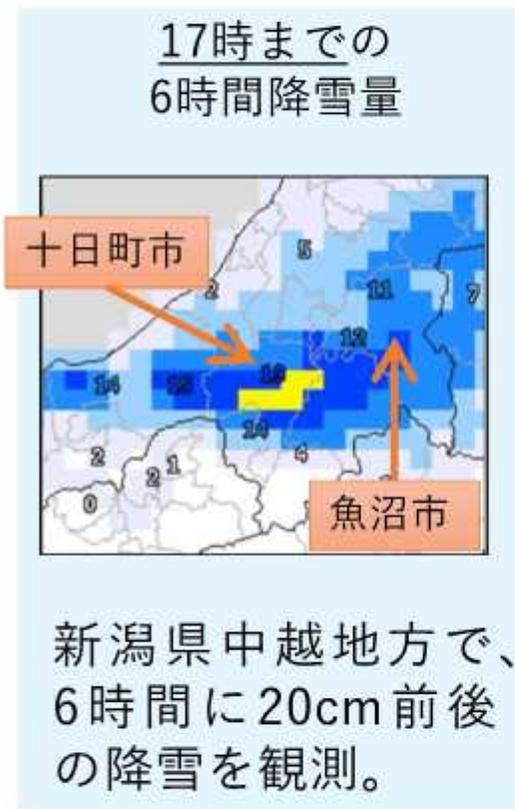
降雪量

URL (「現在の雪」から変更無し)  
<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>



# 予測例

2020年12月31日の事例



✓ 大雪が続く可能性があることを把握できた事例です。

## ■ 利用上の留意点

---

- ✓ 1時間ごとに更新されますので、最新の予報をご利用ください。
- ✓ 積雪の深さ及び降雪量について、雪の広がりには適切に予報できる一方で、その量は実際よりも少なめに予報する傾向があります。積雪の深さ・降雪量の分布の傾向を把握するための資料としてご利用ください。なお、今後も継続的に技術開発に取り組み、精度向上に努めて参ります。
- ✓ 大雪のおそれがある場合は、気象情報や警報・注意報等が発表されます。最新の気象情報等を併せてご利用ください。

# 大雪に関する気象情報の改善

- ・ 大雪に一層の警戒を呼び掛ける気象情報
- ・ 短時間の大雪に一層の警戒を呼びかける気象情報

## ○ 背景

平成30年2月、福井県中心の大雪により社会的に大きな影響が発生（約1500台の車両が立ち往生）



近畿地方整備局WEBサイトより転載

## ○ 目的

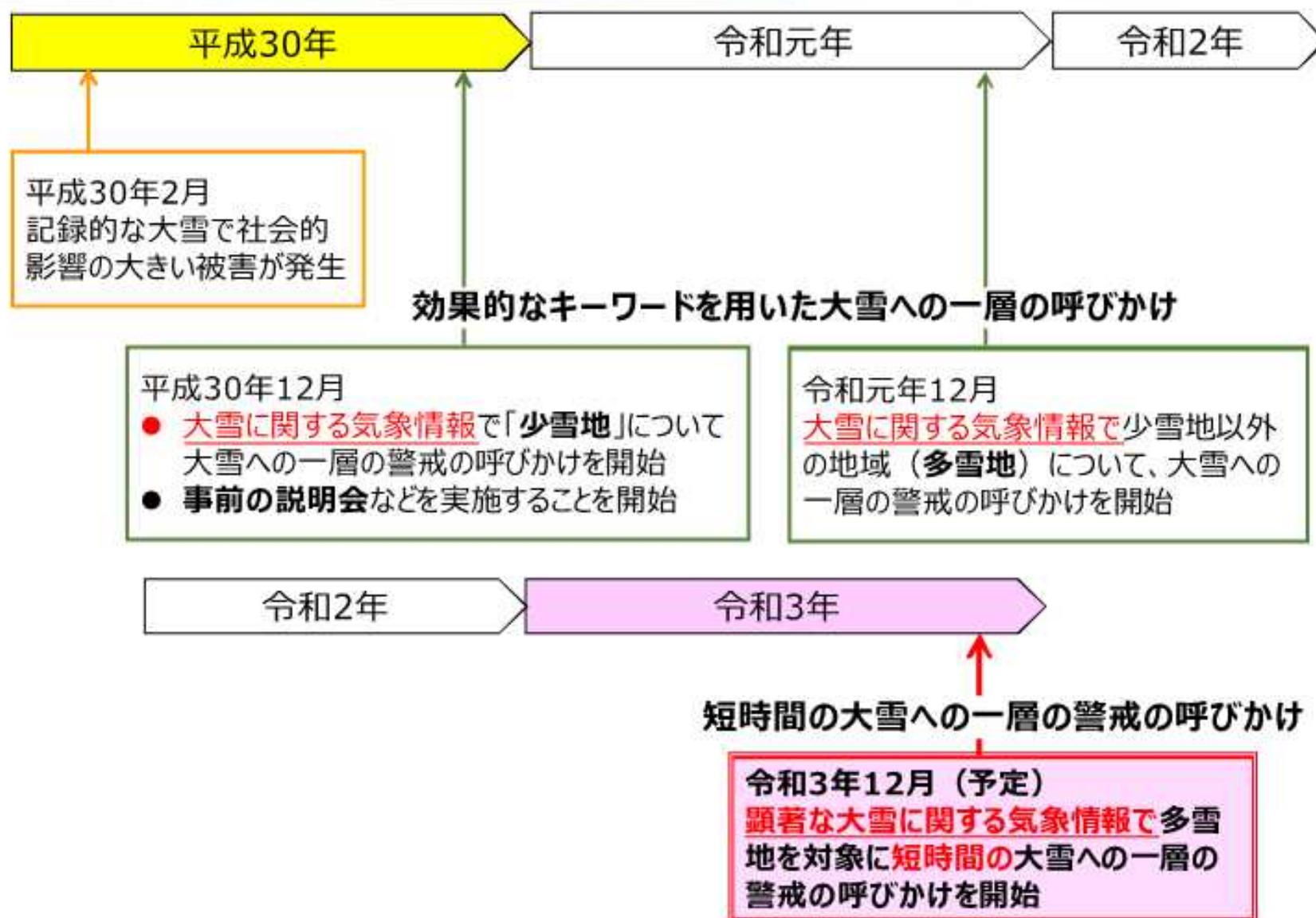
- ・ 大雪警報基準を大幅に上回る降雪量が予測される場合
- ・ 短時間の記録的な降雪となった場合



キーワードを用いた気象情報の発表

- ・ 気象台の危機感を共有
- ・ 地域住民の不要不急の外出の抑制
- ・ 防災関係機関に対する効果的な支援

## 大雪に一層の警戒を呼びかける取り組みの推移（近畿地方の場合）



# 通常の「大雪に関する気象情報」の中で行う一層の警戒の呼びかけ

## ○ 大雪に対する緊急発表、記者レク（報道機関など関係機関向け説明会）

- 大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こすおそれのある大雪が前もって予想される場合に、近畿地方整備局などの関係機関と大阪管区気象台が共同で報道発表を行い、道路利用者や地域住民に一層の警戒を呼びかける。
- 各地方でも地方整備局と気象台、高速道路事業者等と共同して記者発表などを行い、大雪への一層の警戒を呼びかける。

緊急発表を行ったり予告的な気象情報を発表したりすることによって、気象台の危機感を伝え、関係機関の早めの対応や住民の不要な外出を控えるよう促す。

**大阪管区気象台**  
Osaka Regional Headquarters, JMA

報道発表

令和3年1月6日  
大阪管区気象台  
(同時発表 近畿地方整備局)  
(同時発表 中部道 岐阜)  
(同時発表 近畿地方整備局)  
(同時発表 東北高速道路(株) 東北支社)  
(同時発表 中部高速道路(株) 名古屋支社)  
(同時発表 中部高速道路(株) 金沢支社)  
(同時発表 東海西尾道路(株) 西尾支社)  
(同時発表 東海西尾道路(株) 西尾支社)

**大雪に関する緊急発表**  
～不要・不要の外出は控えてください～

○近畿地方では、1月7日～1月9日にかけて、山地を中心に大雪となる見込みです。【別紙-1参照】

○降雪状況によっては降雪作業等のために通行止めを断続的に実施する場合があります。道路国道では【別紙2-1、2-2、2-3】を中心に通行止めを行う場合があります。高速道路の通行止め予測区間は適宜HPでお知らせします【別紙-3】

○平常平常の外出は避けていただくとともに、やむを得ず外出される場合は、専用タイヤの装着やタイヤチェーンの装着及び早朝出発などのご協力をお願いします。

○公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生する恐れがあります。

○あわせて、最新の気象情報及び道路情報等に注意し、十分な時間的余裕を持って行動してください。

「大雪に関する緊急発表」 令和3年1月6日 別紙-1

【道路利用者等への呼びかけ】

○1月7日から生じた気圧配置が急変し、8日(土)にかけて上空1000m付近で-12℃以下の平年よりかなり強い寒気が西日本の太平洋側まで南下する見込みです。このため、低気圧や気象地点では8日にかけて断続的に降雪が続き、特に7日頃から8日(土)にかけては山地を中心に大雪に警戒が必要です。先週半端に大雪となった後では大規模な降雪の増加にも注意してください。また、8日にかけて平年よりかなり寒気が強くなるため、積雪態を中心に道路凍結のおそれがあります。

○大雪による立ち往生等に警戒が必要です。

○また、降雪量が限らない地域においても、突如の大雪による立ち往生等に警戒が必要です。

○平成30年2月の大雪時に、専用タイヤやタイヤチェーンの未装着などの車両が見受けられました。

○立ち往生車両による通行規制が発生すると、車引等が必要になり他の道路利用者への影響も大きくなります。

○お出かけ前には、冬期道路情報の確認や専用タイヤの装着、大雪が予想される地域を避ける広域迂回の検討、タイヤチェーンの装着の他、不要不急の外出は控えてください。お願いします。

【1. 今後の気象の見直し】

令和3年1月7日からの8日にかけての大雪

気象地点	降雪量(mm)		積雪量(cm)	
	7日	8日	7日	8日
山形	10.0	10.0	10.0	10.0
大宮	10.0	10.0	10.0	10.0
大阪	10.0	10.0	10.0	10.0
福岡	10.0	10.0	10.0	10.0

【2. 過去の大雪による被害事例】

平成30年2月4日から平成30年2月7日にかけての大雪

【被害状況】

○2月4日(水)の夜にかけて日本列島は強い寒気が南下し、大雪となり、低気圧が停滞し、大雪となった。被害が1000ヶ所を超る大雪となった。

# 大雪に一層の警戒を呼びかける気象情報

発表条件（以下①②の条件のどちらかに該当する場合に発表）

- ① 12時間降雪量が**警報基準のおおむね1.3倍を超える**と予想される場合
- ② アメダス今津、柳ヶ瀬、米原及び彦根で**記録的な積雪**に迫り、さらに3時間におよそ10cm以上の降雪が数時間続くことが予想される場合。气象台から逼迫した状態であることを呼びかけます。

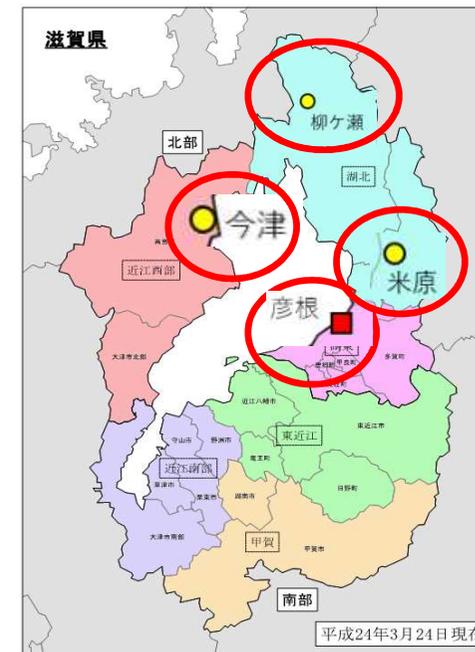
## 標題

- ・ 「大雪に関する滋賀県気象情報」

## キーワード

- ・ 「警報基準を大幅に超える降雪量が予想されます」
- ・ 「不要不急の外出は控えてください」
- ・ 「平成18年の豪雪※に匹敵する降雪量となっている所があります」

※ <https://www.data.jma.go.jp/hikone/shosai/kakojirei.html>



滋賀県細分区域

12時間降雪量の警報基準と**おおむね1.3倍の値**（単位cm）

滋賀県	山地		平地	
	警報基準	1.3倍の値	警報基準	1.3倍の値
近江西部	50	70	40	50
湖北	50	70	40	50
湖東	50	70	35	45
近江南部	30	40	30	40
東近江	40	50	30	40
甲賀	40	50	30	40

**記録的な積雪に迫る値**（単位cm）

今津	90
柳ヶ瀬	230
米原	70
彦根	60

# 大雪に一層の警戒を呼びかける気象情報の例文

発表条件（以下①②の条件のどちらかに該当する場合に発表）

- ① 12時間降雪量が**警報基準のおおむね1.3倍を超える**と予想される場合
- ② アメダス今津、柳ヶ瀬、米原及び彦根で**記録的な積雪**に迫り、さらに3時間におよそ10cm以上の降雪が数時間続くことが予想される場合。气象台から逼迫した状態であることを呼びかけます。

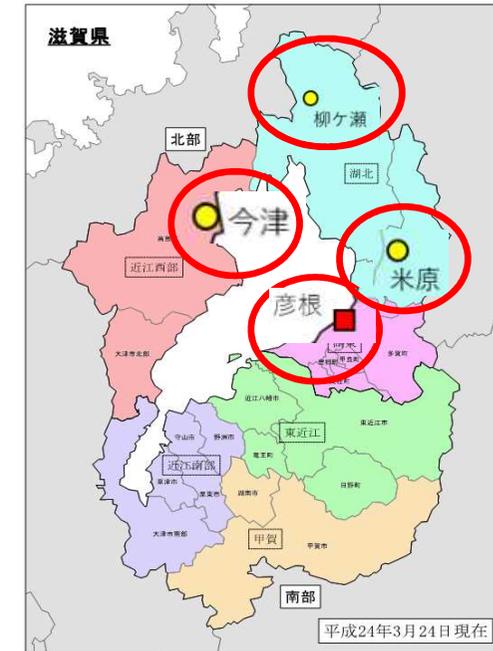
標題

- 「大雪に関する滋賀県気象情報」

キーワード

- 「警報基準を大幅に超える降雪量が予想されます」
- 「不要不急の外出は控えてください」
- 「平成18年の豪雪※に匹敵する降雪量となっている所があります」

※ <https://www.data.jma.go.jp/hikone/shosai/kakojirei.html>



滋賀県細分区域

**キーワードを用いて強い危機感を伝えます**

(見出し)

湖北では〇日〇〇から〇日〇〇にかけて、**これまでに経験のない記録的な大雪となる可能性があります。大雪に警戒し不要不急の外出は控えてください。**

(本文)

なし

# 大雪に一層の警戒を呼びかける気象情報の対象となる事例

## 平成23年1月29日～2月1日の大雪事例

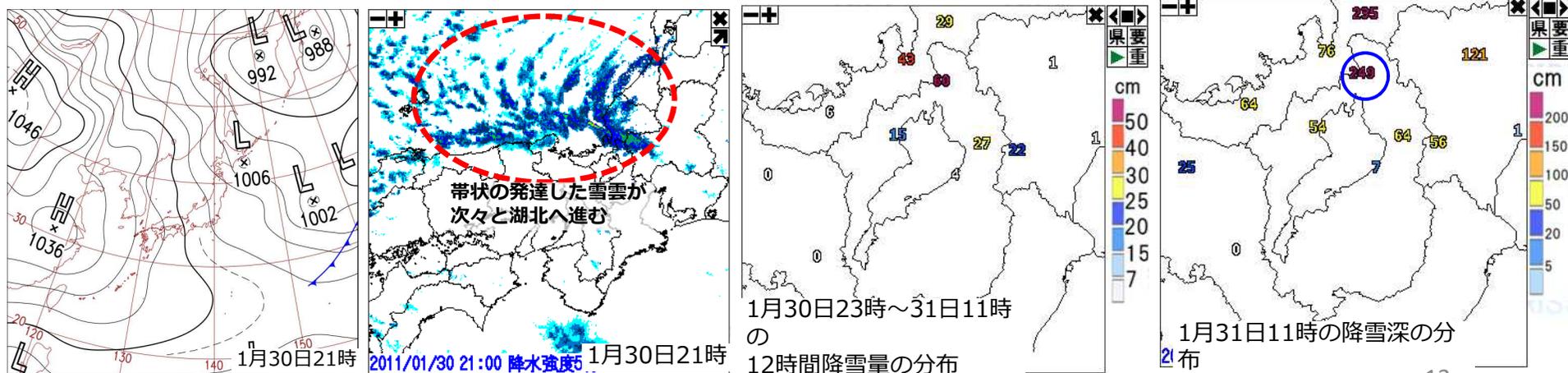
### 概要

- 強い寒気が移流して、冬型の気圧配置が強まった。
- 最新 積雪深 柳ヶ瀬 249 cm (1月31日、1981年観測開始 歴代1位) を記録。

### 被害状況 (滋賀県)

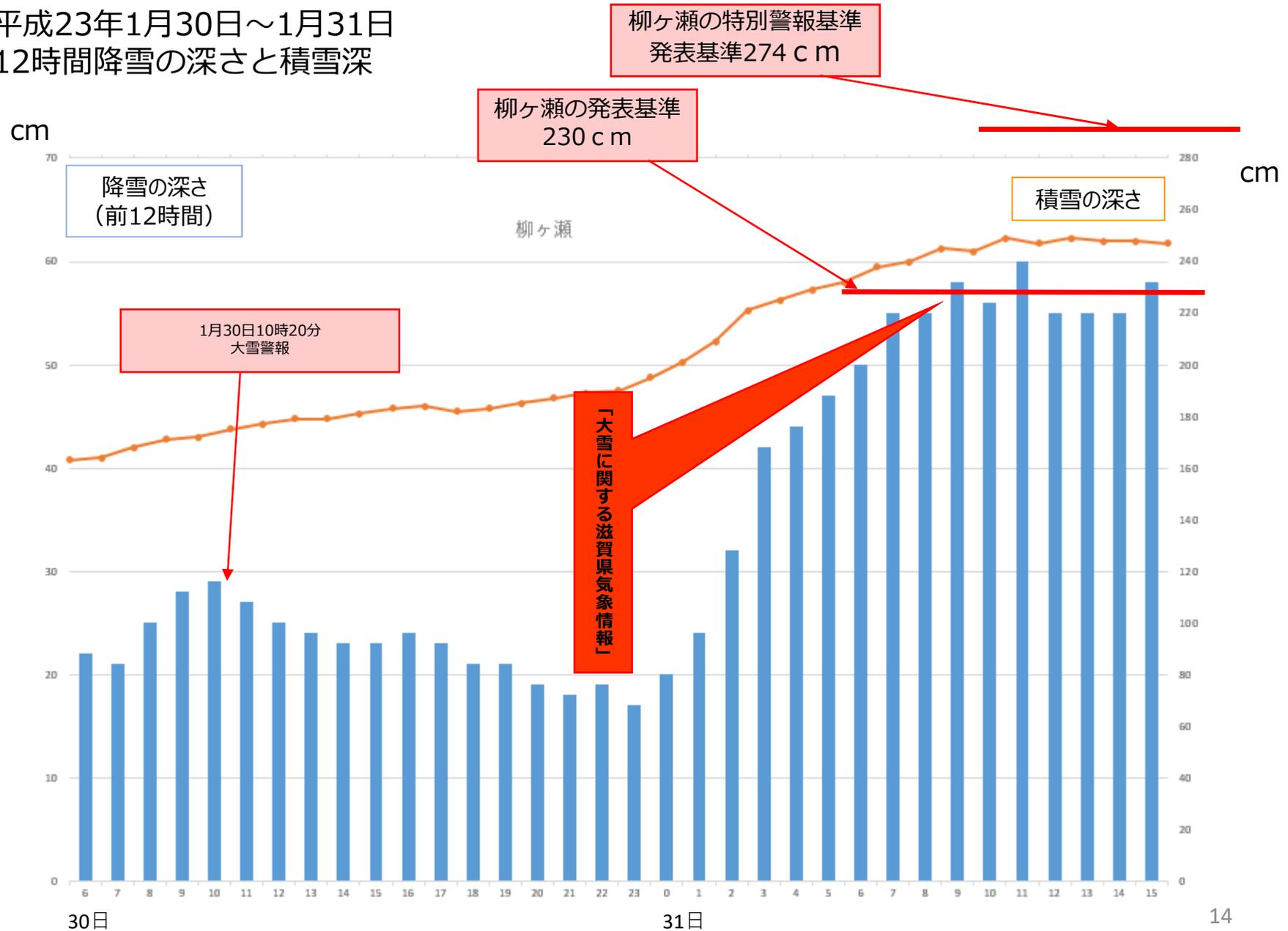
- 30日午後9時頃、大雪のため、安曇川駅とおごと温泉駅で2本、大阪駅1本が運休、約800人に影響が出た。また30日夜には米原駅で119人が車内で一晩を過ごした。
- 31日の始発から、大雪のため、JR湖西線の近江今津～近江塩津駅間と、北陸線の長浜～近江塩津駅間で、計142本が運休、約2万1千人に影響が出た。
- 2月1日、大雪のため、JR湖西線で運休3本、遅延5本、約750人に影響が出た。
- 31日朝から、大雪のため北陸自動車道の上り福井～木之本間、下り長浜-今庄間で通行止め、約800台が動けなくなった。

アメダス柳ヶ瀬(青丸)で、最深積雪**249**cmを観測 (**記録的な積雪に迫る値** 230を超えている。さらに**3時間におよそ10cm以上の降雪が数時間続く**ことが予想される場合、情報発表し危機感を伝える。)



# 大雪に一層の警戒を呼びかける気象情報の発表タイミング例

平成23年1月30日～1月31日  
12時間降雪の深さと積雪深



# 短時間の大雪に一層の警戒を呼び掛ける気象情報

本年12月1日より実施

## 【発表条件】

- アメダ地点で 6時間降雪量が35cmに達し、その後も警報級の降雪が続いて、12時間降雪量が警報基準を超過すると予測するとき

## 【標題】

- **「顕著な大雪に関する滋賀県気象情報」**

## 【キーワード】

- 深刻な交通障害の発生するおそれが高まっています。

## 【例文】

**キーワードを用いて強い危機感を伝えます**

(見出し)

長浜市余呉町柳ヶ瀬で○日○時までの6時間で38センチの顕著な降雪を観測しました。

この強い雪は○日○○にかけて続く見込みです。湖北では、深刻な交通障害の発生するおそれが高まっています。

(本文)

なし

# 短時間の大雪に一層の警戒を呼び掛ける気象情報の対象事例

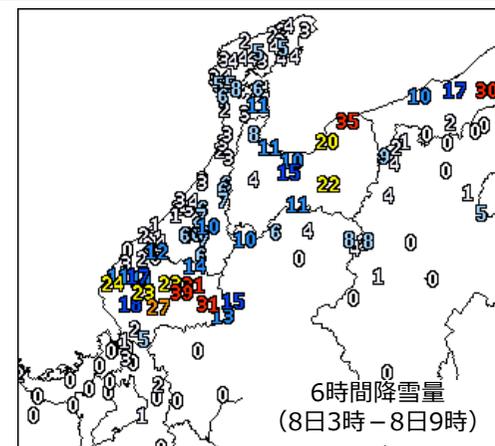
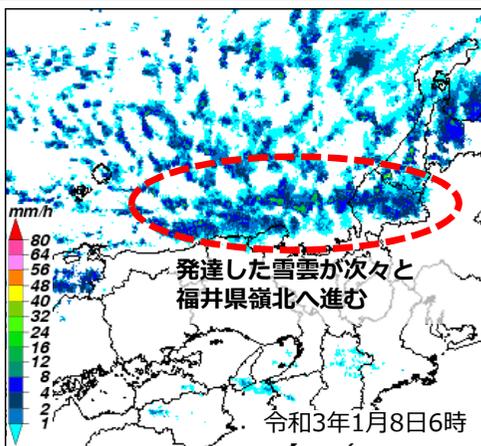
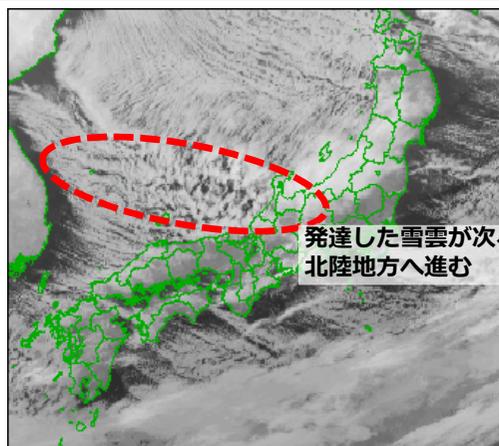
## 令和3年1月8日の大雪事例

### 概要

- 上空に強い寒気が入り、冬型の気圧配置が強まった。

### 被害状況（福井県）

- 死亡6名、重傷17名、軽傷74名
- 住家：全壊1棟、半壊1棟、一部損傷3棟、床上浸水2棟、床下浸水14棟  
非住家：半壊以上2棟農業用ハウスの損壊389棟防波堤の損壊1か所
- 公共交通機関の運休：JR西日本（北陸本線の特急、普通の上下、越美北線）、福井鉄道、えちぜん鉄道、路線バス、高速バス運休多数  
北陸自動車道（最大一時1600台の滞留車両有り）、国道8号、中部縦貫自動車道他通行止め
- 停電：390戸
- 学校休校多数



# 短時間の大雪に一層の警戒を呼び掛ける気象情報の発表タイミング

(令和3年1月上旬の大雪事例、福井地方気象台の対応)

## ①記録的な短時間の降雪量を観測

→1月8日11時、9日14時【発表目安の基準に到達】

## ②さらに警報級の降雪が持続

→大雪は10日にかけて予想。断続的に警報級の降雪が見込まれる。

「顕著な大雪に関する福井県気象情報」発表3回  
（「福井」地点2回、「大野」地点1回 目安の基準に到達）

